

—情報システムとウェブサイトの、セキュリティ向上と人材育成を目指す—  
**国内大学初！** 千葉大生による「**セキュリティバグハンティングコンテスト**」  
**12/15(木) 14:30から 参加者講習会を実施**

国立大学法人千葉大学（学長：徳久剛史）は、セキュリティバグ報告奨励制度（※1）を新たに設け、学内の情報システムとウェブサイトを対象としたセキュリティバグハンティングコンテストを開催する。

**国内の大学では初めての取り組み**で、12月15日に参加者を対象とした講習会を実施する。

■背景

中央省庁や大学等に対するサイバー攻撃は昨今大きな社会問題となっている一方で、セキュリティに係る人材は未だに不足しており、早急な対策が課題である。2015年1月に施行されたサイバーセキュリティ基本法において大学等におけるセキュリティ人材の育成が謳われているところだが、今回の試みはその方針に沿うもので、学生のセキュリティに対する興味と意識の向上と、社会に求められるセキュリティ人材の輩出に依っていく。

■開催要項

- ①参加者は千葉大学の学生に限定、12月15日に実施されるセキュリティに関する法律・倫理、技術を含む全ての講習を受講した学生にのみ「ハンターライセンス」を付与 ※初心者向け事前講習会(自由参加)を12月7日に実施
- ②ハンターは指定期間内に指定されたサイトの脆弱性やバグを探索し、その結果をまとめたレポートを提出
- ③有識者においてレポートを審査し、優秀者には表彰および副賞を授与

セキュリティバグコンテストスケジュール

12月	1月	2月
参加受付開始 11月24日～ 初心者向け 事前講習会 ※自由参加 12月7日 ハンター ライセンス発行 ※参加締切日 12月15日 講習会実施 12月15日	セキュリティ バグ探索及び レポート作成 期間 12月15日 ～ 1月15日	レポート審査 期間 1月31日 表彰式 2月上旬予定

- 一般的なセキュリティバグ報奨金制度とは異なり、バグの発見だけでなく、提出されたレポートについても有識者の視点で評価を行う。
- レポートの評価には、脆弱性発見に定評があり、セキュリティ教育にも知見を有する民間の有識者 **長谷川陽介氏（※2）** をアドバイザーとして迎える。

- （※1） ■セキュリティバグ報告奨励制度** ウェブサイトやネットワーク上でセキュリティに関わるバグや脆弱性等の問題点を発見することを奨励する制度。海外では「Bug Bounty Program（バグバウンティプログラム）」として多くの企業が導入しており、国内でも導入する企業が増えている。
- （※2） ■長谷川陽介氏** セキュリティ・キャンプ講師。Webセキュリティに関連する研究において長期にわたり最先端で活躍。国内外でのカンファレンスでの講演や記事執筆も多数。

**12/15(木) 14:30から実施する、講習会への取材を歓迎いたします。**  
**予め、以下までお知らせください。**

本件に関するお問い合わせ先：  
千葉大学情報危機対策チーム（C-csirt） 担当：情報企画課 鈴木，高氏  
Tel：043-290-2100 Fax：043-290-2094 E-mail：c-csirt@chiba-u.jp



# 千葉大学 セキュリティバグハンティングコンテスト

## 開催目的

千葉大学では新たにセキュリティバグ報告奨励制度を設けたことに伴い、学内の情報システムとウェブサイトを対象としたセキュリティバグハンティングコンテストを2016年12月15日に開催いたします。

当コンテストは、指定のウェブサイト上にセキュリティに関わるバグや脆弱性等が存在しないかどうかを、一定の研修を受けた者がホワイトハッカーとなり調査を実施し、腕を競うコンテストです。

本コンテストは、海外の多くの企業が導入し、日本でも一部の企業が導入を始めている「セキュリティバグ報奨金制度（Bug Bounty Program）」をモデルとしています。

## ■セキュリティバグ報奨金制度（Bug Bounty Program）とは

ウェブサイトやネットワーク上でセキュリティに関わるバグや脆弱性等の問題点を発見した人に報奨金を支払う制度のこと。

## 開催目的

昨今のサイバー攻撃に対し、人材不足とされる情報セキュリティの分野において、セキュリティの技術だけでなく、法律・倫理の知識を併せ持つ優れたセキュリティ人材（学生）の輩出を目的としています。

## 参加条件

本学の学生で、12月15日に開催される講習会を受講して「ハンターライセンス」を授与された方であればどなたでも参加いただけます。

また、12月7日に開催される初心者向け事前講習会で基本的な知識は取得できますので、経験のない初心者でも安心して参加いただけます。

## 実施スケジュール

- ① 参加受付期間：11月24日(木)～12月15日(木)
- ② 初心者向け事前講習会：12月7日(水) ※自由参加
- ③ 開会式及び講習会（ハンターライセンス取得）：12月15日(木) **※受講必須**
- ④ セキュリティバグ探索、レポート作成期間：12月15日(木)～1月15日(日)
- ⑤ レポート審査：1月17日(火)～1月31日(火)
- ⑥ 表彰：2月上旬予定 ※時間会場未定(後日Webページへ掲載)

## 事前講習会および講習会

### ■初心者向け事前講習会 ※自由参加

このコンテストの内容について、初心者向けにわかりやすく説明します。

まずはここで説明を聞いてから本講習会への参加を判断頂いても構いません。

開催日時 12月7日(水) 5限(16:10～17:40)

開催場所 統合情報センター2F 電算実習室1

講師：佐藤元彦 大学運営基盤機構情報環境部門准教授

(伊藤忠商事株式会社 ITCCERT 上席サイバーセキュリティ分析官)

### ■開会式及び講習会

開会式ならびにハンターライセンス取得のための講習会を行います。

講習会では、法律や倫理、ツールの入手方法や使い方などの技術について学んでもらいます。

注) 以下①、②両方とも受講しないとハンターの資格を取得したことはありません。

開催日時 12月15日(木) 4限～6限(14:30～19:20)

開催場所 統合情報センター2F 電算実習室2

#### ① 法律・倫理

法律(不正アクセス禁止法、威力業務妨害、不正指令電磁的記録に関する罪、個人情報保護法、電子計算機損壊等業務妨害罪)、倫理(守秘義務、ゼロデイ情報の扱い方、脆弱性の届出制度)

講師：石井徹哉副学長

## ② 技術

脆弱性診断の初歩と仕組み、ウェブサイト攻撃手法、主な検査ツールの使い方、診断レポートの書き方 など

講師：長谷川陽介氏（株式会社セキュアスカイ・テクノロジー）

### コンテスト参加に必要なツールについて

パソコンはご自身のものを使ってください。（大学では用意しません）

脆弱性を検証するツールについても自身で用意されたツールを使用して頂いて構いません。

### 検査対象のウェブサイト

今回のコンテストのために特別に用意されたウェブサイトを使用します。

ミッションをクリアした方は実際に学内で運用されているウェブサイトに挑めます。

### レポートの提出について

コンテスト参加者には、検査した結果をレポートとして提出してもらいます。

【レポート締切日】平成29年1月15日(日) **23:59 着分まで受付**

提出されたレポートは有識者により審査を行い、優秀者には表彰を行います。

なお、セキュリティバグを発見できなかった場合でも、調査を行った過程とサーバに問題がなかった内容が明記されていれば表彰の対象となります。

### 表彰

成績優秀者には、副学長より表彰状が授与されます。

また、副賞として商品券が授与される予定です。